

## 【授業改善推進プラン 5年 国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習意欲に対する個人差が見られる。</li> <li>○目的や意図に応じて話す力に個人差がある。情報を正しく聞き取ることに課題をもつ児童が複数いる。</li> <li>○主語述語の整った文章を書く習慣がついている児童と、課題のある児童がいる。</li> <li>○読書に関心をもつ児童が多い反面、文章から情報を正しく読み取ることに課題のある児童が複数いる。</li> <li>○新出漢字を覚えようと学習に取り組む児童が多いが、新出漢字を使って文章を書くことが難しい児童が複数いる。また児童によって語彙力に差がある。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての児童が意欲的に取り組むための指導方法を検討していく必要がある。</li> <li>○新出漢字や言語事項、文章の読み方・書き方などの基礎的・基本的事項を児童が身に付けられるように、授業内で指導していく必要がある。必要に応じて、家庭学習や補習などの機会を設ける。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教科書を電子黒板で示しながら授業を行うなど、児童の興味をひく工夫をする。</li> <li>○聞き取ったことを児童同士で共有し、アウトプットができるようにする。</li> <li>○特に「読み解く力」及び「書く力」を育てることが中心の学習では、Chromebookを使った資料も含めたワークシートを数種類用意するなど、個の能力に応じた学習教材を検討する。またスモールステップで指導を進められるようにする。</li> <li>○めあてを明示し、学習に目的をもたせる。また振り返りを行うようにする。</li> <li>○漢字を身に付ける、語彙を増やす、読書をするなどの課題を授業内で取り入れる。必要に応じて家庭学習で取り組むことができるようにする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章中の主語、述語、目的語、指示語などを確認する。</li> <li>○特に「読み解く力」を育てることが中心の学習では、音読をする時間を授業内で設ける。また発問をしたり児童同士で考えを共有したりする活動を通して、文章の内容を児童がイメージできるようにする。</li> <li>○文章に対して、自分の考えと考えた理由を明確に書くことができるように指導する。児童同士で考えを共有し合い、考えを深め合う活動を取り入れる。</li> </ul>

# 【授業改善推進プラン 5年 社会】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li> <li>○図表などの資料を読む力は育ってきている。資料から背景などを読み取ることに課題をもつ児童が多い。</li> <li>○ノートに、調べたことや考えを、分かりやすくまとめることのできる児童が多い。</li> <li>○都道府県の名前や位置、世界の主な大陸や海洋、国々の名前や位置、日本の国土や気候の特徴などにおいて、習得の不十分な児童がいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図表を読み解くための指導を引き続き行うと同時に、図表から分かる背景を読み解けるように指導をする必要がある。</li> <li>○正しい知識を習得させ、定着させていく必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地図帳などを用いて地図に触れる機会を増やし、都道府県や世界の国々の場所などを繰り返し確認していく。</li> <li>○めあてを明示し、学習に目的をもたせる。また振り返りを行うようにする。</li> <li>○必要な情報を教科書から読み取れるようにしていく。情報から読み取ったことをノートに書き出したり発表し合ったりする機会を増やす。</li> <li>○調べたことをまとめる学習では、教科書や文献を使って調べられるようにする。また、ICTを活用して調べる機会も増やしていく。Chromebookを使う際は、情報モラルの指導も併せて行っていく。</li> <li>○児童が選択して学習する単元では、学年を2コースに分けて「単元担任制」とし、児童が興味関心のある単元を選んで学習できるようにする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○習得する必要がある語句は、教科書を用いてその意味を確認できるようにする。</li> <li>○図表を正しく読み取れるように、基本的な読み方を随時指導する。また図表から分かる社会的背景について考えるように投げかけ、児童同士で考えを共有し合い、発表し合えるようにする。</li> <li>○自分の考えと他者の考えを比較する場面を積極的に取り入れる。</li> </ul>

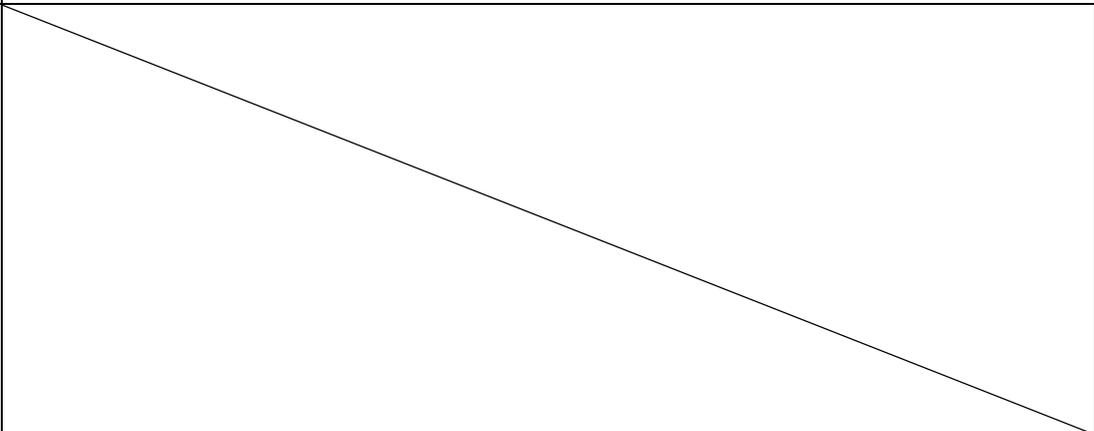
# 【授業改善推進プラン 5年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数を得意とする児童と苦手とする児童の差がかなり大きい。</li> <li>○新しい問題の解き方を考える際に、習ったことを活用したり筋道立てて考えたりする力、言葉・式・絵や図などを用いて解き方を表す力がやや不十分である。</li> <li>○自分の解き方をわかりやすく伝える力がやや不足している。</li> <li>○他者の解き方の説明を聞いた際、自分の考えと比べ疑問点を意見として述べたり質問したりする力がやや不足している。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールが明確になるように、授業始めの「めあて」を常に工夫する必要がある。また、振り返りにおいて、「分かったこと」「難しかったこと」など振り返る視点が示されていないことがある。</li> <li>○問題を解くための戦略を身に付けさせるために、指導の工夫が更に必要である。</li> <li>○解けずに困っている児童に対しての支援方法を更に研究する必要がある。</li> <li>○児童の表現力（特に対話的な話し合いの仕方）を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールがよく分かるよう、「めあて」の文言を示す。</li> <li>○授業の初めの問題を工夫し、児童の意欲を高める。</li> <li>○問題解決において、既習事項をどのように活用すればよいか見通しをもたせる。</li> <li>○解き方が分からない児童を適宜集め、問題を解く手順を考えさせるなど、具体的なアドバイスをおくる。</li> <li>○ノートのかき方・発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、表現力・思考力を高めさせる。</li> <li>○児童が解決法を説明する際、価値のある発言や質問を取り上げ、よい点を具体的に示す。</li> <li>○5分確保する・視点を明確に示すなどして、振り返りをより充実させる。</li> <li>○電子黒板やタブレットなどを活用し、分かりやすく魅力ある授業を行う。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章題の内容を確実に理解させるために、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認する。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。</li> <li>○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを児童同士で読み合う時間を設け、他の児童が考えた解決法を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○解き方を発表する際、初めに児童の解き方を黒板に記す。そして、どのように解決したのか考える時間を設け、図や表・式などから解き方を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○定義となる語彙が新たに登場した際、ノートに記載させ全員で読ませたり、当てはまる具体例を考えさせたりすることにより、新しい語彙を確実に定着させる。</li> </ul>

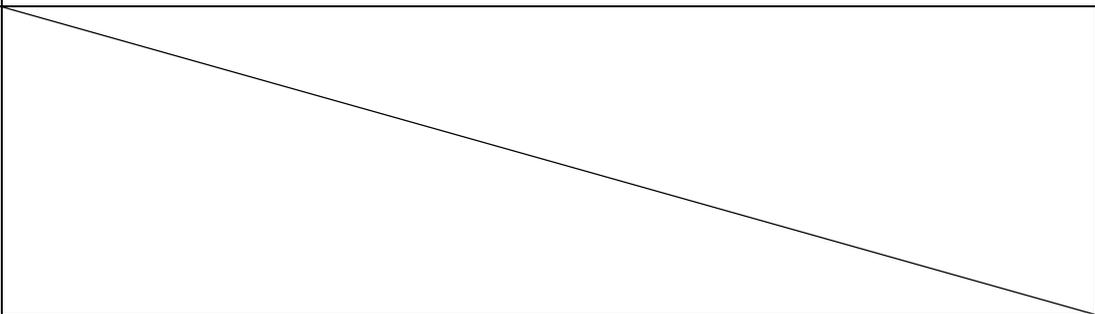
# 【授業改善推進プラン 5年 理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験や観察には意欲的だが、それがどんなことを確かめるための活動なのか理解していない児童がおり、見通しをもてていない場合がある。</li> <li>○実験・観察結果を比較、分析したりしてわかることや考えられることを表現する力が不足している。</li> <li>○事象から疑問を見出したり、調べたいことや実験して確かめたいことを意欲的に発想することができ、話し合いが活発になる傾向がある。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が自力で実験計画をたてたり、疑問を解決することができるよう指導方法をさらに工夫していくことが必要である。</li> <li>○自分で解決方法を発想できない児童のために、支援之仕方を研究する必要がある。</li> <li>○児童の表現力を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験方法やその手順を自分たちで計画する時間を確保し、自分でたてた予想や仮説から実験までの見通しをもった活動ができるよう学習計画をたてる。</li> <li>○児童の意欲や、自分たちで疑問を解決したいという思いを高められるよう、身の回りの不思議な事象を提示して授業の導入を行う。</li> <li>○ノートのかき方・発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、表現力・思考力を高めさせる。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。</li> <li>○実験方法や実験結果を、図を用いて表すようにする。</li> <li>○疑問に思ったことに対する予想や、実験結果をもとにどんなことが言えるかを考え、表現する活動を行う。</li> <li>○観察、実験の結果を表やグラフに整理したり、予想や仮説と関係付けながら文章でまとめてノートに記述したりする活動を取り入れる。</li> </ul>

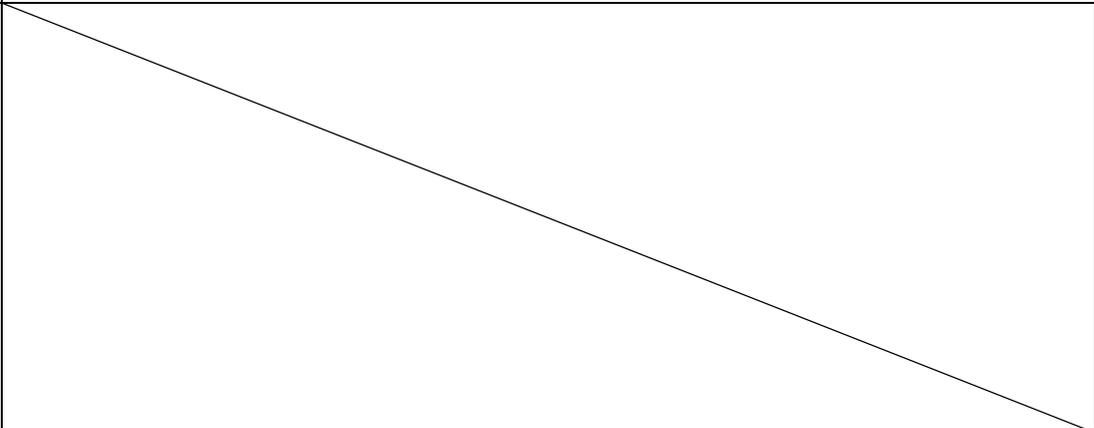
# 【授業改善推進プラン 5年 音楽】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に活動し、授業規律も定着している。</li> <li>○曲想と音楽の特徴との関わりを意識して表現したり音楽を聴いたりすることに課題がある。</li> <li>○自分の考えや、友だちの意見を取り入れながら、主体的・協働的に学ぶ姿がみられる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。</li> <li>○表現活動に一部制約があるため、自分の出している音に集中したり、友達と音を合わせたりする場面が少ない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○机間指導や個別に演奏する時間を設け、個に応じた支援できるようにする。</li> <li>○換気を徹底し、横一列や半円の隊形で並んだり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。</li> <li>○曲想と音楽の特徴との関わりを意識できるように楽譜に注目させたり、参考となる鑑賞曲を鑑賞したりする活動を行う。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

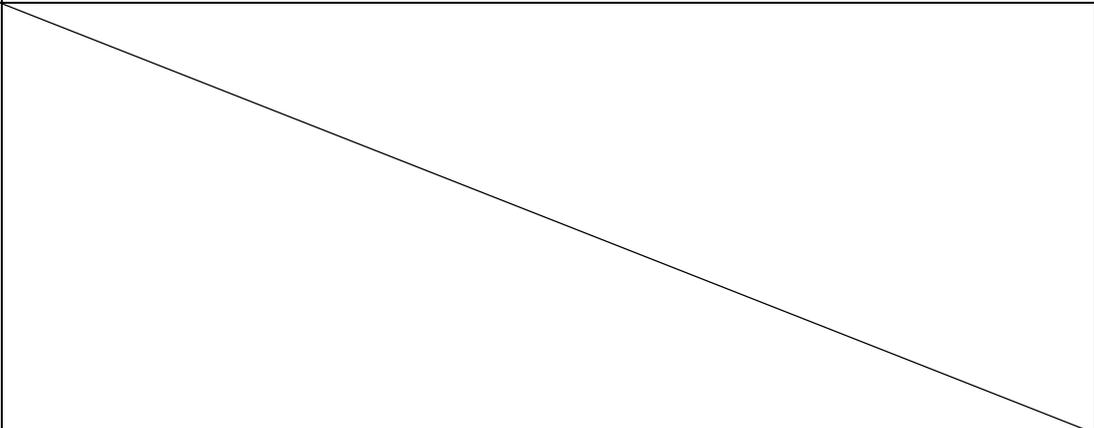
# 【授業改善推進プラン 5年 図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノコギリ、カナヅチ、彫刻刀などの用具や、絵の具、パステルなどの画材、木材、紙粘土などの材料など、既習事項は十分な経験がある。しかし、そのような知識や技能の定着には児童間に差がある。（知識・技能）</li> <li>○自分なりに作りたいものを考えることが好きな児童が多い。しかし、発想内容に偏りがあつたり、誰かの真似になってしまつたりする児童もいる。また、自分の作品を客観的に見ることができず仕上がりや完成度が不十分な児童もいる。（思考・判断・能力）</li> <li>○図工全般に対して意欲的である。また、以前よりもお互いを認め合う雰囲気があり、心理的安全性の高い状態で活動することができている。（主体的に学習に取り組む態度）</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成度を高める意識が低い児童や、技能の定着が十分ではない児童に向けた、より効果的な個別の指導の技術や言葉かけ。</li> <li>○児童の発想力を高めることができるような声かけや授業の設定をする必要がある。</li> <li>○表現活動に一部制約があるため、造形遊びや鑑賞等の共同的な学習の体験が十分ではない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能を定着していくために、既習事項を振り返る時間や、既習事項を生かしている児童の作品紹介などを行う。</li> <li>○各題材に色々な形式で鑑賞の時間を設けることで、児童の客観的な判断力や鑑賞の力を伸ばす。</li> <li>○色々な発想を取り入れられるよう、クロームブックを児童自身の判断で使い、調べることができるようにしたり、アイデアを練るワークシートなどを行ったりする。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症対策や感染数などの状況を見極めながら、予定している単元を組み替えながら、造形遊び等の学習活動を行っていく。</li> <li>○教師の板書から、児童が自身でめあてを設定し、その時間の取り組み目標をもつ。併せて、そのめあてをもとに、その日の活動を振り返る活動を毎時間設定する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

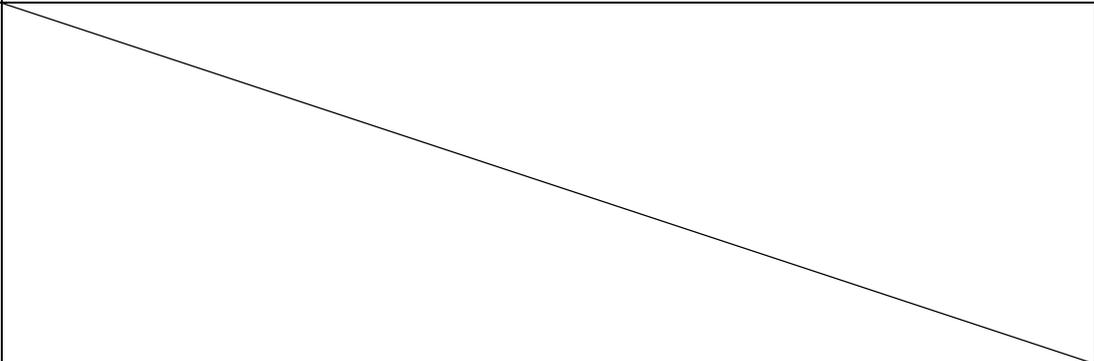
# 【授業改善推進プラン 5年 家庭科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に興味・関心をもって取り組む児童が多い。</li> <li>○生活経験の差があり、手際よく作業が進められる児童と課題のある児童がいる。</li> <li>○裁縫において、授業時間内に作業の終わらない児童が複数いる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○裁縫の授業において、時間内に終わるように授業展開を工夫する必要がある。</li> <li>○手縫いの習得に個人差がある。</li> <li>○調理実習の準備に時間がかかったり、振り返りの時間まで確保できなかったりすることがある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画などを用いて、児童が学びに興味関心をもてるようにする。また習得する必要がある知識・技能と日常生活とのつながりがもてるように、授業展開を工夫する。</li> <li>○特に裁縫の授業においては、実演、ICTによる動画などを活用し、視覚的な支援を充実させる。</li> <li>○保護者ボランティアの協力により、個人のつまずきを支援する。</li> <li>○児童同士の学び合いを積極的に行わせ、技能を高められるようにする。</li> <li>○担任と専科で協力し合い、学習形態を工夫する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

# 【授業改善推進プラン 5年 体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心をもって学習に取り組む児童が多い。</li> <li>○めあてを意識して学習に取り組もうとする児童が多い。</li> <li>○体力テストの結果から、特に持久力や筋力、瞬発力において課題が見られる。</li> <li>○基本的な技能の定着に課題が見られる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な技能を定着させられるような手だてが不足している。</li> <li>○運動量を確保するための授業展開を検討する必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動の時間を10分程度確保し、持久力や筋力を高められるような運動を取り入れる。</li> <li>○めあてを確認し、解決に向けてスモールステップで技能を身に付けられるように、場や時間を設定する。また、振り返りの場を設ける。</li> <li>○学習カードや資料、学習展開や学習形態を工夫することで、見合ったり教え合ったりすることができるようにしていく。</li> <li>○必要に応じてタブレット端末で課題に沿った動きの動画を取り合い、自分の動きを振り返って課題を見つけさせ、解決に向けて取り組ませる。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

## 【授業改善推進プラン 5年 総合的な学習の時間】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元に対し、意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>○見通しをもって調べ学習を進めたり、単元を通して粘り強く取り組んだりすることに課題のある児童が複数いる。</li> <li>○少人数で協力して話し合うことができる児童が多い。</li> <li>○調べたことや考えたことを発表したり表現したりすることに、課題が見られる。</li> <li>○課題解決に向けたツールとして、ICTを用いて調べようとする児童が多い。その一方、文献を活用することが難しい児童がいる。また調べたい内容に合う図表を見つけることに時間がかかったり、内容に沿わない資料をもってきたりする児童もいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を通して児童の意欲を持続させるための手だてを、検討する必要がある。</li> <li>○課題に対して探究を続け、自分なりに答えを導き出すための手立てを、検討する必要がある。</li> <li>○思考力や表現力を高めるための手だてを、検討する必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題に対して「自分と身近な問題である」と捉えることができる手立てを工夫していく。</li> <li>○児童がテーマに対して探究を続けることができるように、児童一人一人やグループに対して声かけを行ったり、振り返りのワークシートを工夫して助言をしたりしていく。また単元の途中でGoogleformを使って学習の振り返りを行い、学習の進行状況を児童自身が振り返ることができるようにする。</li> <li>○必要に応じて思考ツールやICTを活用し、調べたいことを調べることができるようにする。</li> <li>○様々な発表方法や発表形態を経験させることを通して、表現力を育成していく。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

## 【授業改善推進プラン 5年 外国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に外国語に慣れ親しもうとする児童と、消極的になりがちな児童が見られる。</li> <li>○外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いてきている。その一方で、コミュニケーションを取る相手が限られている児童も見られる。</li> <li>○身に付けた力を生かして伝え合おうとしている児童が多い一方、日本語を使いがちな児童も多い。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語に対して苦手意識をもっている児童に対して、手だてが必要である。</li> <li>○教員の指導力の向上を図るとともに、ALTと連携を図る必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTと打ち合わせを密にし、役割分担を明確にした上で、より効果的な授業展開になるように工夫する。</li> <li>○デジタル教科書を用いて、外国語の発音を聞かせたり、発話の練習をしたりする機会を多く設ける。</li> <li>○児童同士で交流する機会を多く設けたり、ALTや教員と1対1で対話する機会を設けたりして、外国語に触れる機会を増やす。</li> <li>○苦手な児童も安心して取り組むことができるよう、児童に手本を示してもらったり、児童にヒントを与えたりする。また、必要に応じて補助的な教材を用意する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教科書の絵を見たり音声を聞いたりして、絵の内容を読み取ることができるようにする。必要に応じてALTや教師が補足の発問をして、絵の内容について考えることができるようにする。</li> <li>○習得した例文が様々な場面で活用できることに気付けるよう、振り返りを工夫する。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン 5年 特別の教科 道徳】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳的価値について、理解できている児童が多い。</li> <li>○授業の場面で自己の生き方と結び付けている児童が多い。</li> <li>○道徳的価値を学んだ後、日常生活において実践しようとする意欲はあるが、その意欲が継続しない児童もいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業と実生活を結び付ける手だてが不足している。</li> <li>○授業で学んだことを継続させるための手立てが不十分である。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の会や帰りの会などの機会を捉えて、授業と関連付けた指導を行う。</li> <li>○必要に応じてICTを活用し、教科書教材に登場する人物の紹介や、教材の内容を理解するための補足となる動画を見せてイメージをもたせる。</li> <li>○めあてを示し、めあてに対する振り返りの時間を5分程度設定する。</li> <li>○めあてについて深く考えることができるように、発問を工夫する。また、児童同士で話し合うことができるような時間を設ける。</li> <li>○振り返りの中で、教材文からの学びを入れて、今後の自己の生き方を考えるように指導し、教材と実生活とが結び付くようにする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発問などを通して、児童が読み物資料の内容を理解できるようにする。また必要に応じて、動画や写真などを見せることで、読み物資料の内容の理解を深めることにつなげる。</li> </ul>